

第9回 スチュワードシップ・セミナー

主催：一般社団法人 スチュワードシップ研究会

『取締役会評価と機関投資家の対話／議決権行使』

近年、企業の取締役選任プロセスの改革が進んでいます。一方、機関投資家が取締役選任議案に反対したり、取締役候補者を推薦したりするケースも増えています。企業は自社の取締役会の実効性をどのように評価し、候補者を決定しているのか？ 機関投資家は、投資先企業の取締役会の適切性を、単なる形式基準にとどまらず実質的にどのように評価できるのか？ また投資家が適切な評価を行うには、企業のどのような開示が必要か？ 現場で取組んでいるコンサルタント、投資家の方々に議論していただきます。

【日時】2019年10月17日（木）午後2：00～4：20（受付開始1：30）

【会場】日比谷図書文化館コンベンションホール（日比谷公園内）

【講師と演題】

第1部 講演（2：00～2：50）

（1）「2019年の株主総会にみる取締役選任」

木村 祐基 スチュワードシップ研究会 代表理事

（2）「取締役会評価について」

高山与志子氏 ジェイ・ユーラス・アイアール（株）取締役

ボードルーム・レビュー・ジャパン（株）代表取締役

第2部 パネルディスカッション（3：00～4：20）

「取締役会評価と機関投資家の対話／議決権行使」

パネリスト：

高山与志子氏 ジェイ・ユーラス・アイアール（株）取締役

ボードルーム・レビュー・ジャパン（株）代表取締役

菊池 勝也氏 東京海上アセットマネジメント（株）

責任投資部 ESG スペシャリスト

松原 稔 氏 （株）りそな銀行 アセットマネジメント部

責任投資グループ グループリーダー

光定 洋介氏 あすかコーポレートアドバイザー（株）

取締役 ファウンディングパートナー

モデレーター：

神山 直樹氏 日興アセットマネジメント（株）チーフ・ストラテジスト

【講師・パネリストのご紹介】

高山与志子（たかやま よしこ）氏

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 取締役、マネージングディレクター。

ボードルーム・レビュー・ジャパン株式会社 代表取締役。

東京大学経済学部卒、エール大学経営大学院卒 MBA 取得。東京大学大学院人文社会系研究科博士号取得。1987年メリルリンチ証券会社ニューヨーク本社投資銀行部門に入社。2001年からジェイ・ユーラス・アイアールにて IR・コーポレートガバナンスに関するコンサルティングを行う。2015年ボードルーム・レビュー・ジャパン代表取締役に就任、多くの企業の取締役会評価を支援。「両コードのフォローアップ会議」メンバー。

菊池勝也（きくち かつや）氏

東京海上アセットマネジメント 責任投資部 ESG スペシャリスト

早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。1989年大和証券投資信託委託入社。2013年まで約20年株式運用部門に所属しファンドマネージャーを務める。主として成長株ファンドや SRI ファンドを担当。2013年に調査部へ異動しアナリストとして金融・医薬品セクターなどをカバーする。調査部長を経てスチュワードシップ活動を担当。2019年1月東京海上アセットマネジメントへ入社し、ESG 調査や議決権行使などを担当。

松原 稔（まつばら みのる）氏

株式会社りそな銀行 アセットマネジメント部 責任投資グループ グループリーダー。1991年4月にりそな銀行入行、年金信託運用部配属。以降、投資開発室及び公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部、運用統括部で運用管理、企画を担当。2017年4月より現職。2000年年金資金運用研究センター客員研究員、2005年年金総合研究センター客員研究員。MPT フォーラム代表幹事、持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則運用・証券・投資銀行業務ワーキンググループ共同座長・運営委員。WICI ジャパン「統合報告優良企業表彰」審査委員会委員他

光定洋介（みつさだ ようすけ）氏

あすかアセットマネジメント／あすかコーポレートアドバイザー取締役ファウンディングパートナー。

早稲田大学大学院ファイナンス研究科(MBA)首席修了。東京工業大学学術博士 Ph.D.。都長銀、外資系運用会社にて上場株投資を経験した後、ユニゾン・キャピタルにてプライベート・エクイティ投資に従事。2005年に、投資先企業との対話を重視するあすかバリューアップファンドをファウンダーとして立ち上げ。また、複数の企業の社外役員の経験も有する。

神山直樹（かみやま なおき）氏

日興アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト。

2015年1月より現職。幅広い資産クラスの市場分析・予測を行なうとともに、機関投資家ならびに個人投資家を対象として投資情報や運用戦略等を発信。シティ大学（ロンドン）経営大学院にて博士号（ファイナンス）。CFA協会認定証券アナリスト、日本証券アナリスト協会 認定アナリスト、証券アナリストジャーナル編集委員、ファイナンス学会理事、投資家フォーラム運営委員。

木村祐基（きむら ゆうき）

一般社団法人スチュワードシップ研究会代表理事。

野村総合研究所エマージング企業調査部長、野村アセットマネジメント企業調査部長兼経済調査部長、コーポレートガバナンス担当、企業年金連合会年金運用部コーポレートガバナンス担当部長、金融庁総務企画局企業開示課専門官を経て、2014年10月から現職。2017年10月から（社）機関投資家協働対話フォーラム理事長も務める。

【スチュワードシップ研究会について】

2014年2月に金融庁から公表された『日本版スチュワードシップ・コード』では、機関投資家が、投資先企業やその事業環境に関する深い理解に基づき、投資先企業との建設的な「目的を持った対話」（エンゲージメント）などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、顧客・受益者の長期リターンの拡大を図ることが期待されています。機関投資家のスチュワードシップ活動は、議決権行使にとどまるものではなく、企業と「対話」を行うことを含めた幅広い活動を指すとされ、コードの原則7では、「機関投資家は、（中略）当該企業との対話やスチュワードシップ活動に伴う判断を適切に行うための実力を備えるべきである。」とされています。

本研究会は、主に日本株式に投資する機関投資家が会員となってネットワークを形成し、スチュワードシップ活動を行うための「実力」を備えるための研鑽の場を提供し、合わせて適切なスチュワードシップ活動を行うための環境整備に資することを目指しています。

具体的には以下のような活動を行っています。

- ① 機関投資家の情報交換・意見交換・情報共有の場の設定
- ② 外部講師等によるセミナー、研究会等の開催
- ③ 関係諸機関への提案・提言や意見発信等
- ④ 社会への情報発信、スチュワードシップ活動に関する理解の促進

□当研究会についてのお問合せや会員のお申し込みは、info@stewardship.or.jp にご連絡ください。

【セミナー申込み方法】

セミナーに参加ご希望の方は、お名前、ご所属（会社名、部署、役職）、ご連絡先（電話番号およびメールアドレス）を明記のうえ、メールの件名に＜10/17 セミナー申込み＞と記入して、2019年10月10日までに、info@stewardship.or.jp までお申し込みください。

受付が完了した方にはメールでお知らせします。そのメールが参加証となりますので、印刷して当日受付にご提出ください。定員に達した場合は、その旨を当会ホームページ（<http://www.stewardship.or.jp>）でお知らせし、お申込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

なお、「事前のご質問」をお受けいたします。ご質問がある方は、参加お申込みのメールに「事前質問」として、ご記入ください。パネルディスカッションの中で、できるだけ回答させていただきたいと思っております。時間の制約などにより、全てのご質問にお答えできない場合は、ご了承ください。

参加費；1,000円（当日会場受付にてお支払いください）

交通アクセス



*専用の駐車場はありません。日比谷公園地下駐車場をご利用ください。